

Renshen
人參 ニンジン
 Latin: Radix et Rhizoma Ginseng



人參

基原：ウコギ科のニンジン *Panax ginseng* C. A. Mey. の根及び根茎。

産地：主に中国の吉林、遼寧、黒竜江及び朝鮮半島などで生産され、主として栽培品である。

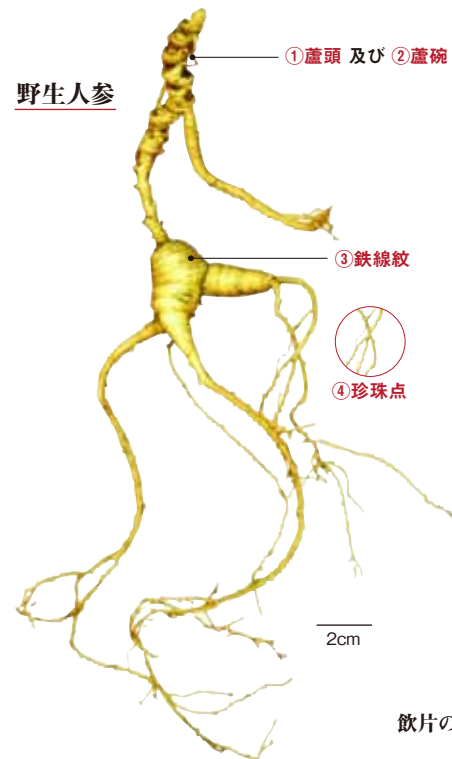
性味：味は甘・微苦、性は平。

効能・効果：大補元氣、復脈固脱、補脾益肺、生津、安神。主根は紡錘形または円柱形であり、外面は灰黄色。

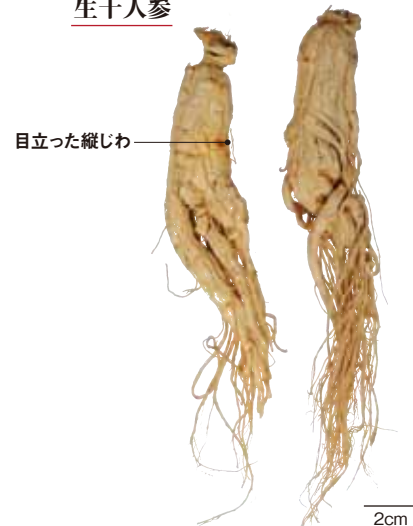
薬材の特徴：大補元氣、復脈固脱、補脾益肺、生津、安神。主根は紡錘形または円柱形であり、外面は灰黄色。

選品：質が堅く、切断面は淡黄白色、粉性を呈する。特異な香りがあり、味はやや苦く、甘い。古来より、太く、質が硬く、完全なものが良いとされている。

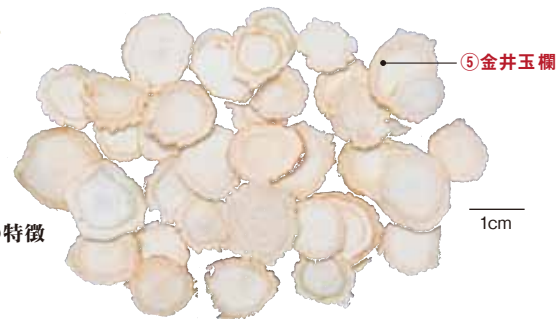
野生人參



生干人參



飲片の特徴



鑑別のポイント

- ① **蘆頭**：根類薬材の上部に残留した根状茎を言い、通常、薬材の鑑別の特徴として使う。
- ② **蘆碗**：蘆頭の上のいくつかの円形または半円形のくぼみ状の、枯れた茎の痕を言い、形は小さい碗のようである。
- ③ **鉄線紋**：主根の上端の外皮ある黄褐色の螺旋状の横筋を言う。野生人參を鑑別する場合のポイントである。
- ④ **珍珠点**：野生人參のひげにある小さな瘤状の突起物を言い、珍珠●●とも言う。
- ⑤ **金井玉欄**：根類及び根茎類薬材の断面の中心木部は淡黄色を呈し(金井)、皮部は黄白色を呈し(玉欄)、金と玉が対応するようなので、金心玉欄と言う。

注記

- 1. 栽培したものは「園参」とも言う。山参の種を山林にまいて野生の状態で自然に成長させたものを「林下参」と言い、習俗に「ㄱ海」と呼ばれる。
- 2. 現在、既に吉林省の靖宇、臨江、長白、集安、撫松には規範化された人參の栽培基地が設立されている。

Hongshen
紅参 コウジン
 Latin: Radix et Rhizoma Ginseng Rubra

基原：ウコギ科のニンジン *Panax ginseng* C. A. Mey. の根及び根茎。

産地：主に中国の吉林、遼寧、黒竜江及び朝鮮半島などで生産され、主として栽培品である。

性味：味は甘・微苦、性は温。

効能・効果：大補元氣、復脈固脱、益氣撰血。

薬材の特徴：質は硬く脆い。切断面は平らで角質様を呈する。においは弱く特異で、味は甘く、やや苦い。

選品：古来より、太く、質が硬く、完全なもの、「黄馬褂」のあるものが良いとされている。

紅参



朝鮮紅参(高麗人參)



飲片の特徴



鑑別のポイント

黄馬褂：生長年数の長い紅参の体部の上部表面が黄土色を呈し、黄色の馬褂(中国清朝に満州民族の服の上着)を着ているように見える事を言う。紅参の二次加工によって形成されることもある。

注記

中国薬典」には、「西洋参」の別項として、同属植物の「西洋参」(*P. quinquefolium* L.)の乾燥した根が収録されている。93ページの「西洋参」項を参照。